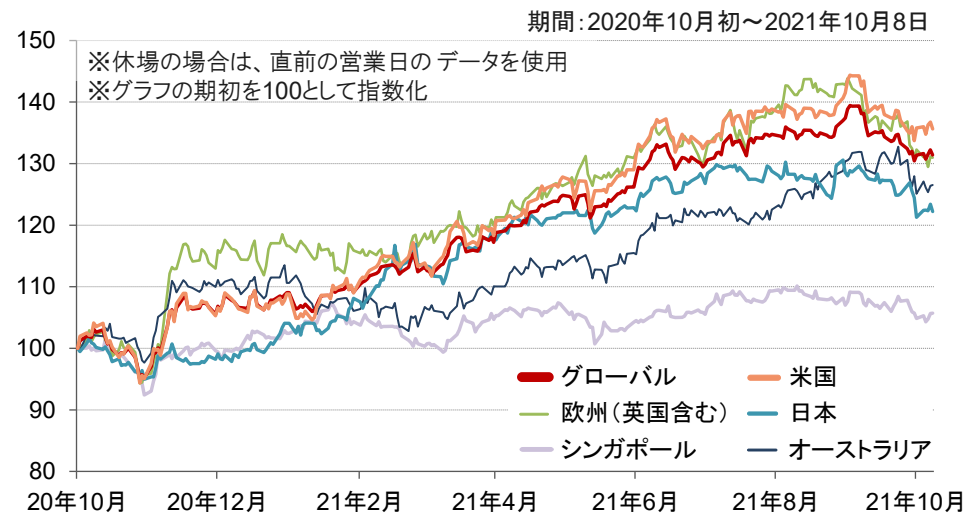


先週(10月4日～10月8日)のグローバルREIT市場の動き

先週は、様々な懸念材料が金融市場を取り巻くなか、グローバルREITは国・地域ごとにまちまちの展開となり、全体では、前週末比0.0%で終わりました。

- 米国では、週前半、原油価格の上昇や連邦政府の債務上限問題が重しとなりましたが、その後は、原油高一眼に伴うインフレ懸念の後退や、債務上限が暫定延長で合意されたことなどが安心材料となり、REITは底堅く推移しました。
- 欧州では、インフレ加速に伴う景気刺激策の縮小や経済成長への影響などが懸念され、週前半は軟調な展開が続きました。その後、原油価格の上昇一服により幾分懸念が後退し、ユーロ圏REITは下げ幅を縮めましたが、英国REITは、長期金利の上昇が嫌気されたこともあり、下落しました。
- 香港では、中国不動産開発大手に対する信用不安や世界的なインフレ懸念が重しとなり、軟調な展開が続きました。ただし、6日に香港行政長官が施政方針演説で、香港北部での新たな大都市圏の開発計画などを発表し、不動産株が反発するなか、REITも下げ幅を縮めました。

各国・地域のREIT価格の推移



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

● 2021年10月8日時点(1週間前=10月1日、3ヵ月前=7月8日、6ヵ月前=4月8日、1年前=2020年10月8日、3年前=2018年10月8日) なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

国・地域	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
グローバル	705.06	0.0	▲ 0.0	9.6	27.5	30.5
米国	1,707.42	▲ 0.1	0.9	11.9	30.3	36.6
カナダ	1,434.36	1.1	1.4	11.9	38.6	33.5
欧州(ユーロ圏)	589.41	▲ 0.6	▲ 5.5	3.6	29.4	▲ 10.8
英国	99.52	▲ 1.3	0.7	7.3	27.8	17.0
日本	536.19	0.8	▲ 5.6	1.4	21.4	31.7
香港	838.46	▲ 0.2	▲ 9.6	▲ 2.6	12.9	5.1
シンガポール	752.97	0.8	▲ 1.3	▲ 0.6	5.7	25.2
オーストラリア	1,008.31	1.1	3.4	12.4	23.9	35.6

為替(対円)	先週末	騰落率(%)				
		週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
米ドル	112.24	1.1	2.3	2.7	5.9	▲ 0.9
カナダ・ドル	90.01	2.5	2.9	3.5	12.0	3.1
ユーロ	129.86	0.8	▲ 0.1	▲ 0.2	4.2	▲ 0.2
英ポンド	152.78	1.5	1.0	1.8	11.4	3.1
香港ドル	14.42	1.1	2.0	2.6	5.4	▲ 0.3
シンガポール・ドル	82.84	1.2	2.1	1.6	6.1	1.2
オーストラリア・ドル	82.02	1.7	0.6	▲ 1.9	7.9	2.3

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

- 当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。
- 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。